

# 体と心で会話しよう

## 四日市 市民センターで親子体操



親子体操を楽しむ参加者ら＝四日市市山田町の小山田地区市民センター

【四日市】四日市市山田町の小山田地区市民センターと同地区子育てひろば（宇佐美律子代表）は六日、地域の未就園児と保護者を対象に、同センターで「親子体操」を開いた。親子体操講師の杉町恵美子さんの指導で、親子ら十九人がスキップの大切さを学んだ。

杉町さんは「子育ての巻き戻しはできない。毎日、子どもと向き合い、体と心で会話することが重要」と話した。「アンパンマン

体操」や「おさかな天国」などの曲に合わせて、肩車をして歩いたり、膝に乗せてシーソーごっこやでんぐり返しをしたり、体を道具に子どもと触れ合う遊びを指導した。

幼児らは母親に高く抱き上げられたり、駆け回ったりして歓声を上げていた。同市鹿間町の小林理奈さん（三）は、「初めは尻込みしていた二歳の娘が、途中から夢中になって遊んでいました」と話していた。